

# Cryopreservation Conference 2020 プログラム

司会進行: 田中大介

11月26日(木)

09:00 - 09:05 開会の挨拶 阿形 清和(自然科学研究機構 基礎生物学研究所 所長)

## セッション 1

座長: 長谷部 光泰

09:10 - 09:55 <01> 両性電解質高分子による細胞凍結保存の機序とその応用  
松村 和明(北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)

10:00 - 10:45 <02> Zwitterionを用いた凍結保存  
黒田 浩介(金沢大学 理工研究域 生命理工学系)

10:45 - 11:00 休憩

11:00 - 11:45 <03> シミュレーション技術によるヒトiPS細胞の緩慢凍結プロセス設計  
杉山 弘和(東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻)

11:45 - 12:00 写真撮影(Zoom画面の撮影)

12:00 - 13:30 昼食

## セッション 2

座長: 田中 大介

13:30 - 13:45 <04> 卵菌類のドロップレット・ガラス化法  
田中 大介(農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝資源センター)

13:50 - 14:05 <05> ショウジョウバエ系統の凍結保存技術の実用化に向けて  
浅岡 美穂(筑波大学 生存ダイナミクス研究センター(TARA))

14:10 - 14:25 <06> ヤママユガおよびサクサンの超低温保存の可能性  
福森 寿善(九州大学 大学院農学研究院 遺伝子資源開発研究センター)

14:30 - 14:45 <07> ナミテントウの精巣凍結保存法の確立と実用化に向けて  
川口 はるか(自然科学研究機構 基礎生物学研究所 進化発生研究部門)

14:45 - 15:00 休憩

## セッション 3

座長: 成瀬 清

15:00 - 15:15 <08> Ice recrystallization behavior of corn starch/sucrose solutions and impact of Type III antifreeze protein addition  
Kamrunnaher Monalisa(東京海洋大学 応用生命科学専攻)

15:20 - 15:35 <09> 浸透圧傷害への保護機能に伴う両性電解質高分子の凍結保護効果  
塚田 友梨子(北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 マテリアルサイエンス系)

15:40 - 15:55 <10> アカゲザル(Macaca mulatta)精巣の精子形成における組織学的な季節変動  
杉山 宗太郎(京都大学 霊長類研究所 ゲノム細胞研究部門 ゲノム進化分野)

16:00 - 16:15 <11> ニホンザルにおける精液採取の方法が新鮮および凍結融解後の精液性状に与える影響  
柳川 洋二郎(北海道大学 大学院獣医学研究院)

11月27日(金)

## セッション 4

座長: 田中 大介

09:30 - 09:45 <12> 実用藻類ツノケイソウChaetoceros gracilis の凍結保存法の確立  
福澤 秀哉(京都大学 大学院生命科学研究所 微生物細胞機構学分野)

09:50 - 10:05 <13> サトイモ茎頂の効率の良いガラス化保存法の確立II  
本橋 令子(静岡大学 農学部 応用生命科学科)

10:10 - 10:25 <14> 凍結保護剤フリーで凍結された細胞のための自動解凍装置開発とその有用性の検証  
渡部 広機(信州大学 大学院総合理工学研究所 生命医工学専攻)

10:30 - 10:45 <15> 高効率な非透過性凍結保存剤としての生体適合性zwitterion  
加藤 優衣(金沢大学 理工学域 生命理工学系)

10:45 - 11:00 休憩

## セッション 5

座長: 成瀬 清

11:00 - 11:15 <16> 急速融解によるクライオチューブを用いたラット1細胞期胚ガラス化保存  
福田 康義(秋田大学 バイオサイエンス教育・研究サポートセンター 動物実験部門)

11:20 - 11:35 <17> 母体の加齢がガラス化したウシ胚のミトコンドリア品質管理に及ぼす影響  
伊藤 洵(東京農業大学 大学院農学研究科)

11:40 - 11:55 <18> ゲノム編集ラット作製における保存精子・胚の活用  
金子 武人(岩手大学 大学院理工学研究科)

11:55 - 12:00 閉会の挨拶 成瀬 清(自然科学研究機構 基礎生物学研究所 IBBPセンター長)